

山口情報芸術センター[YCAM] ワークショップ

演劇ワークショップ「演劇鑑賞、もうひとつのトビラ」

講師：長島 確（翻訳家/ドラマトゥルク）

2010年3月6日(土) 13:00~17:00、7日(日) 10:00~16:00 (2日間通し)

山口情報芸術センター[YCAM]

演劇作品を、より豊かに楽しみたい方にー。 演劇鑑賞のエキスパートを目指すワークショップ

山口情報芸術センター[YCAM]では、3月6日より2日間、演劇ワークショップ「演劇鑑賞、もうひとつのトビラ」を開催いたします。

このワークショップでは、参加者の互いの意見やアイデアから、一つの戯曲に対する様々な解釈や演出の可能性を体感してもらいます。

講師には、日本ではまだ数少ないドラマトゥルクとして活躍し、2009年12月にYCAMで上演した演劇作品「Life On The Planet」にも参加した、長島確氏をお迎えします。演出家のパートナーとして、客観的な示唆を与える、ドラマトゥルク。その役割を紹介しながら、テキストと演出の関係性を深めます。

演劇経験者や演劇鑑賞がお好きな方のみならず、これから演劇作品を楽しみたいという方にも、演劇の味わい方を学んでいただける機会となります。

定員：25名（要申込。空きがあれば当日参加も可）
対象：高校生以上 料金：一般 2000円 / 25歳以下 1000円

申込方法：はがき、FAX、e-mailにて、「演劇鑑賞、もうひとつのトビラ」参加希望とご記入のうえ、住所、氏名(ふりがな)、性別、電話番号、e-mail等連絡先とともに、下記までお申し込みください。
〒753-0075 山口市中園町7-7 山口情報芸術センター[YCAM]
FAX: 083-901-2216 e-mail: workshop09@ycam.jp



過去の演劇ワークショップの様子(2007)

長島 確 (ながしま かく) 翻訳家/ドラマトゥルク

1969年生まれ。立教大学文学部フランス文学科卒業。同大学博士課程では、バイリンガルの作家サミュエル・ベケットの自己翻訳をテーマに研究。翻訳書に、ベケット「いざ最悪の方へ」（書肆山田）がある。1997年、ピーター・ブルックの来日公演で舞台字幕オペレータとして初めて演劇の現場に入る。2002年より阿部初美と組み、日本では数少ないドラマトゥルクとしての役割も担うようになる。そのほか、2005年「Re:Re:Re:place」（演出・高山明）2006年「アメリカ現代戯曲&劇作家シリーズ」（東京国際芸術祭）、2007年「死のヴァリエーション」（アントワヌ・コーベ演出）、アジア国際共同製作「演じる女たちーギリシャ悲劇からの断章」（国際交流基金）などにも参加。



ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 担当：会田 広報担当：辰村、廣田
TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp/>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。